

泉ヶ丘探究の日「学習成果発表会」開催(2/7)

2月7日(金)に本校探究活動の成果を発表する「学習成果発表会」が行われました。例年、高校2年生の「郷土探究」(普通科)、「課題研究」(理数科)全班の成果発表を高校1年生・中学3年生が参観する、という形態でしたが、SSH指定校になったことで一新しました。

高校2年生に加え、理数科1年生による「SSR計画発表」(全班)、中学2年生による「自然科学探究中間発表」(全員)、さらには、既に探究活動の区切りの付いた中学1年生・中学3年生代表班による「プレゼン発表」を行いました。中学生の発表を高校生が参観するという新たな取組から、学科・学年を超えた質疑応答等による「化学反応」にも期待しました。



今回はSSH運営指導委員6名の先生に加え、本県SSHコーディネーターの児玉先生にも審査を依頼し、専門的視点からのアドバイスもいただきました。



専門性の高い内容をわかりやすく発表する難しさや、研究・探究の結果を論理的且つわかりやすく伝達するポスター作成の工夫など、取り組んだ者しか感じ得ない独特な高揚感もあったことでしょう。これからは学校全体でその「質」を高めていくように探究スキルを獲得し、日常的な場面に転がる「探究のタネ」に気づいていきたいですね。

審査委員による特別賞は以下の通りです。

◆審査委員特別賞

- ・泥電池の電圧に関係している条件は何か (中学3年生)
- ・ヒルについて～ヒルが吸血対象の表皮の厚みを識別する方法～ (高校理数科1年)
- ・学校内の「今」見える化するデータ管理システム (高校理数科1年)
- ・シラスによる防虫効果 (高校理数科1年)
- ・コウヨウザンで二酸化炭素吸収量を増やす (高校普通科2年)
- ・世界を繋ぐ出川イングリッシュ
～アケハナ テイ活動で言語の垣根を越えた交流～ (高校普通科2年)
- ・データで勝つサッカー (高校理数科2年)

発表会の様子は、テレビ宮崎「のびよ！みやざきっ子」でも紹介されました。(3月9日放送。3月30日再放送予定)

サイエンス・イングリッシュ(SE)「英語プレゼン発表会」(2/14)

2月14日(金)に理数科1年生による英語プレゼンテーション発表会を実施いたしました。「サイエンス・イングリッシュ(SE)」は教科英語とは異なり、生徒の海外進出に役立つ科学英語の読解力向上と、発表等による活用を目的としています。今回のプレゼンテーション活動では、生徒が班で独自に選んだ比較的簡素な英語論文をクラスメートに紹介するためにスライドを作成し、それを英語で説明する形式のプレゼンテーションです。この活動を通してそれぞれの生徒が、科学的英単語及び研究内容を理解するとともに、英語によるアブストラクトの作成や自身の発表プレゼンテーション内で身についた科学英語を使用できるようになってもらいたい、という想いで行いました。



生徒は、自分の伝えたいことを英語で伝えることに苦闘していました。言いたいことが上手く伝えられないというもどかしさを体験しながらも、英語によるプレゼンテーションを通して、読んだ論文の科学的内容の面白さを伝えました。中には台本なしで即興で英語を使う生徒もいて、非常に見応えのある活動となりました。前回の授業でスライドや伝える内容を改善するように伝えましたので、前回よりもグレードの上がったプレゼンができていたと評価します。英語表現力は確実に伸びていると確信しています。

課題としては、スライドの文面をそのまま読みだり、台本を読んでいることに終始して、アイコンタクトがとれていなかったりする生徒がいたことがひとつです。もう一つはスライドに文字を入れすぎている班があったことです。スライドは絵・イラスト・動画を中心に、文字はキーワードのみにとどめること、台本は、なるべく簡素で相手に分かりやすい英語を使って組み立てることを指導していますが、来年度はもっと発表の質を向上させていきたいと思っています。

沖縄科学技術大学院大学(OIST)研修(3/10-12)

沖縄科学技術大学院大学(Okinawa Institute of Science Technology 通称OIST)研修ツアーに高校生3名、中学生6名が参加しました。OISTの施設は、恩納村のやんばるの森が広がる広大な丘の上に地形を損なうことなく建てられた近代的な建物になっています。その中には、100以上の研究室があり、現在、54ヶ国もの国々から295名の学生さんが世界トップレベルの研究を行っているそうです。本校生に対し、博士課程の学生3名(いずれも外国籍)によるキャラトークや、空気力学の講義等、実り多いものになりました。

また、最終日には今年度からSSH第Ⅱ期をスタートさせた沖縄県立向陽高等学校を訪問し、様々な研究発表を聴き、質疑応答をさせていただきました。向陽高校2年生の科学発表プレゼンに対し、中学生も積極的に質問を投げかけ、他校交流による生徒の成長を感じたところです。

沖縄科学技術大学院大学の皆様、沖縄県立向陽高等学校の皆様には大変貴重な学びの機会を与えていただき、心から感謝申し上げます。今回の研修を機に、さらに交流を深め、生徒たちへの探究心を育んで行きたいと思います。

